



いながき

6月議会活動報告

新市長 価値ある未来を共に!

～市議会で熱い討論～



いとう

施政方針演説。— 6月市議会開会初日の2日。中原市長の初めての施政方針演説が行われた。50人を超える傍聴者。別室も用意された。「価値ある未来を共に」のキャッチフレーズ。
 ▽市民、政治、行政の三位一体型の市政運営。▽共に考え、動く。最小の費用で最大の効果を。▽国や県との連動。顔の見える地域づくりをめざす。そのために▽市民には情報の公開と共有を。▽市議会とは熱い討論を。▽職員にはチャレンジ精神。取捨選択。スピード感を求めたい。と強調。当面の課題である新庁舎、美南駅東口開発整備、新中学校建設の事業については広範な市民の声を聞くため10回にわたり市長キャラバンを実施することも明らかにした。就任3ヶ月。意欲に溢れた、さわやかな中原丸が船出した。

<総合的・一体的取り組みを要望> 施政方針を受けての代表質問。6月3日トップバッターで40分間。市長としての姿勢、心構えの確認。山積する重点課題10項目を取り上げ総合的視点で一体的に取り組むように求めた。▽地方創生の宿題である吉川版総合戦略策定▽市長キャラバンの実施▽新庁舎、新中学校、新駅東口開発の3事業▽子育て総合支援計画▽高齢者福祉の地域包括ケアシステムについて現状や考え方を聞くとともに総合戦略とも連動して若い人の結婚、出産、子育ての希望を叶える政策目標を推進してほしいと要望。▽県の健康長寿、エコタウン、ウーマノミクスの施策との連動。▽新制度にもとづく教育会議。▽マイナンバー制度の展開などについて実状や見解を聞き、最後に組織、人事を掌握し基盤を固めて前進をとエールを送りました。

<予算に独自性。市長キャラバンスタート> 前例にとらわれず、スピード感を持って。懸案の吉川駅前二期日前投票所。開設実現へ。8月の知事選挙から。県助成金活用の毎日一万歩運動、健康づくりポイント制度。民間保育所への耐震補強費補助。学校給食センターは食育の拠点との位置づけも。
 「総合戦略」検討の委員会は各分野からの10人で。プロのコンサルタントの知恵も借り、年度内に。市長キャラバンは6月25日～7月16日の計10回。▽新庁舎は東洋ゴム工業の不正事件で半年余遅れていることを説明。建設費縮減の方策などについて意見を求め▽東口開発は現状説明と新しい玄関口にふさわしいアイディアを。▽新中学校は複合化の是非や地域の核としての活用など幅広く意見をとの意向です。

<部長以上の人事は適材適所を見極めて> 4月の人事異動は就任の直後。課長級までは発令したが、▽部長、副部長については見送り、適材適所を見極めて。▽民間の知恵や活力を求めて今年度採用から社会人枠を設ける。さらに▽市内の各地域を担当する地域担当官制度の導入。▽市民によるシンクタンクを発足させたいとの考えも示しました。
 予算・議案質疑。委員会質疑、一般質問で稲垣議員とともに集中的に細部にわたり質問を重ねました。全体的に活気のある議会に一步近づいてきました。(いとう)

いながき・いとうの

6月議会報告

場 所 おあしすセミナールーム

日 時 7月4日(土)

午前10時～12時

どなたでも

いながき茂行 栄町782番地1C-1101 TEL&FAX 983-1628

Eメール iimachi.yoshikawa@gmail.com

いとう 正勝 きよみ野2-8-2 TEL&FAX 983-1117

Eメール itoh.m-y.runesansu@nifty.com*これまでの議会活動報告は、いながき茂行公式ホームページでご覧いただけます。ブログは毎週土曜日更新 <http://www.inagaki-s.com>

スーパー「マルサン」問題 早急に改善を！ いながき茂行

昨年の10月10日に開店した「マルサン吉川店」による、周辺地域の生活環境悪化は未だ改善されていません。

早朝から深夜まで、騒音・振動は続き、揚げ油による悪臭も深刻です。道路も水路も安心して歩くことが出来ません。

「マルサン」の店舗及び倉庫は、被害を受けている近隣住民にとつて、現状では、「迷惑施設」であると言わざるを得ません。

高齢化した住民の健康とガマンも限界に達しており、早急に改善を図る必要があることから、再度、一般質問で取り上げ、市の対応を求めました。

生活環境保持は、 事業者の責任

大規模小売店立地法は、大型店設置者に対し、『生活環境保持』を求めています。

具体的には、交通安全や騒音等

の問題に適正に対処することです。それは、『地域の住民が感覚的に不快と感じない状態』を意味します。現状は、法が予定する生活環境の保持はされていません

水路の占用許可は 誤りでは

騒音の元凶である無許可で使用していた店舗と倉庫をつなぐ水路上の「橋」に対し、市は2月19日、許可を下しました。

市条例及び道路法に照らすと、通路（橋）に対する占用許可は出せないのでは？との質問に対し市は、『水路上は市道で、車道と認められる。構造上の問題から、車両の通行を制限している』、『水路に架かる橋は構造物ではなく、「通路」と答弁。

どう見ても、あの狭い水路を「車道」、橋を「通路」というには無理があると思います。「歩道」であれば許可は出せません。「通路」は、歩道橋とか地下道のことを言うのではないのでしょうか。疑問が残ります。

「マルサン」と住民との 話し合いは平行線

6月4日（木）、マルサン社長・店長と住民代表（4世帯）との話し合いが、市担当職員の立会いの下、初めて開かれました。

住民側は、特に深夜の納品や台車（橋を通過）による騒音、悪臭、従業員のマナー等の対策・改善を求めましたが、大きな進展は見られませんでした。

マルサン側は、これまでの改善、取組みへの努力。また、雇用、防災協定等への貢献を主張。

市は、法令に基づき しっかりと指導を！

住民はこれまで、マルサン側に直接・間接的に働きかけ改善を訴えてきました。

しかし、抜本的対策、改善は行われず被害は続いています。騒音は、市の基準を超えており悪臭対策も進んでいません。

市は、「生活環境」を守るため、環境条例等による指導をしっかりとやっていたきたい。

事業者は、法令を順守するとともに、地域住民と向き合い、住民の声を耳を傾け、問題解決へ、努力をしていただきたい。

6月議会は、6月2日～17日まで開催。21議案を審議し、20議案を可決、1議案を否決しました。否決された議案は、市長の給与の特例に関する条例。その他、市長の「施政方針」が示されました。それに伴い、代表質問と一般質問を実施。

議案審議

条例の一部改正は、国民健康保険・介護福祉総合・保育所・職員の育児休業及び勤務時間、休日に関する条例等。新たに制定されたのは、総合戦略推進審議会条例。

委員会審査

総務水道委員会（伊藤）補正予算の他、総合戦略推進審議会条例や市長の給与の特例に関する条例等を審査。

建設生活委員会（稲垣）市道の路線認定及び廃止、補正予算関係を審査。

一般質問

●①「マルサン」出店に伴う周辺地域の生活環境保持のため、市としてしっかりと対応を②「予防接種問題」の根本的解決を（稲垣）
●新庁舎建設、河川整備、公共施設と学校、道路基本計画、総合戦略、地域包括支援システム、子育て支援等市政全般について（伊藤）

吉川・松伏消防議会のお知らせ

7月8日（水）午前9時30分より消防組合本部（会野谷）で開催。『救急・救命士暴行事件』について検証やけじめの必要を質問します。皆様、ぜひお越しください。

江戸川、中川、大場川 注視し、活用を いとう 正勝

地方創生に関連しての吉川版総合戦略の策定。吉川市では総合振興計画の後期計画の策定の時期と重なります。

国や県の施策ということでも、地方針でも抜けていた3本の一級河川の整備と活用。骨格道路の基本計画と推進。「健幸」の生涯計画の提唱など実状を聞き総合的な視点と取り組みを求めました。

江戸川について

堤防強化のため斜面は2倍の広さに。中央部の自転車道は3mから7.5mに拡幅。河川敷には東京と結ぶ災害用緊急道路整備。八子新田地区には防災基地となるスペースも。吉川関係は用地買収率90%。整備率40%。斜面の一部には自然林の発想で県民の森も。ーとの説明。健康長寿や市民参加の機運を盛り上げるためにも全斜面をどう活用するのか。早期に

夢を膨らませる事業の展開を
と要望。小、中学生も交えて
討会を発足してはと問いかけ
ました。

中川・大場川

中川は吉川橋整備が完了の平成31年メドに吉川エリア内の拡幅工事が終了予定。須賀・榎戸側に新たに幅50m、長さ1kmにわたる河川敷。越谷市とも協議し活用の計画を促しました。

大場川は三郷市境までの下流の工事がほぼ終わり、いよいよ吉川エリア内の整備が始まります。第1期は、小谷堀橋〜西大場川合流点までの2キロの区間。近く住民との話し合いも始まります。治水の観点とともに親水性などにも配慮した設計に。上流の新栄やきよみ野エリアとの連続性も早めに考えたいものです。

水とみどりのまち。各学校や公共施設、二合半用水など水路沿いも、もつとみどりとおしゃれの取り組みをと要望しています。

道路整備の基本は県道と県道を結ぶこと。一つの駅や拠点となる各施設への交通網整備も必要です。▽新駅と新庁舎をどう結ぶのか。▽334号線(さくら通り)の早期延長整備▽吉川橋とその延長道路の整備状況。さらに自転車道や歩道への目配り。江戸川の自転車道と連結することも視野に入れてーと提起しました。

子育て、健康長寿 生涯を総合戦略で

「健幸」を柱に、子育て健康長寿の生涯計画。総合戦略を！なまらん体操や1万歩運動。各事業とともに運動・食育・コミュニケーションなど総合的視点で自治会やボランティアを含め地域力アップの一体作戦。共に考え動くシンボル事業として展開してはと指摘、提案しました。



骨格道路の整備 促進計画の明示を

なまらん

健康長寿はみんなの願い。「なまらん体操」はそれをかなえる魔法の杖かもー。

平均寿命は今年男性80.21歳。女性は86.61歳に。人生百年時代の言葉も飛び交います。その一方で健康寿命は男性71.19歳、女性は74.2歳とのこと。大事な終盤に平均して10年余も不健康な状態で過ごす。残念でもつたないことです。鈍くならないように。転ばないようにー。なまらん体操にはまって1年余。この爽快感。この楽しさ。納得の充実感があります。市議会ではもっと本格的に普及とPR。健康寿命が5年〜10年延びるのではとアピールしています。プログラムはストレッチ▽筋トレ▽リズム体操▽脳トレ▽口腔ケア。各10分程度でイスに座ったままでもOK。プロの先生や地域の健康リーダー。初心者にも親切に巧みに指導。リズム体操はユーマインの音楽をバックに。市主催の他、20の自治会や老人会の共催へと広がっています。それぞれの地域でも。そしてあなたもどうぞ。「健幸」にむかってー。

(いとう)

